

中国四川大地震後の土砂災害と舟曲土石流の現地検討会の開催案内

(社)砂防学会 総務部会・事業部会

2008年5月12日に四川大地震が発生し、約8万7千人にもものぼる死者・行方不明者が発生しました。四川大地震はマグニチュード8.0という内陸型の巨大地震であり、その影響範囲も長さ約280 km、幅約50 kmに達しました。この地震により、斜面崩壊、地すべり、土石流、天然ダムの形成・決壊等の土砂災害が多数発生し、人命や財産、公共施設に甚大な被害を与えました。地震後も豪雨により各地で斜面崩壊や土石流が発生し、多数の死者・行方不明者が発生しています。

復興・復旧がある程度進んだ2010年8月12～14日には、綿竹市、都江堰市等の山間部で豪雨により斜面崩壊や土石流が発生し、70余人の死者・行方不明者が発生しました。また、四川省の北隣の甘粛省舟曲では2010年8月8日に大規模な土石流が発生し、死者・行方不明者が1,765人にもものぼる大きな被害が発生しています。

このような四川大地震後の豪雨による土砂災害および甘粛省舟曲の土石流災害の実態を把握し、大規模土砂災害の対策について検討するための現地検討会を下記のとおり開催する予定です。皆様のご参加をお願いします。

詳細につきましては砂防学会のホームページをご覧ください。お願いします。

記

1. 開催時期：平成23(2011)年11月10日(木)～16日(水)
(6泊7日)
2. 開催場所と調査場所：
中国四川省成都市、綿竹市清平地区、都江堰市虹口地区・龍池地区等、甘粛省舟曲県
3. 定員：約15人(先着順)
4. 費用：実費(詳細未定；砂防学会のホームページでお知らせいたします)
5. 参加申し込み・問い合わせ先：
東京農工大学大学院農学研究院砂防研究室
石川 芳治
TEL&FAX：042-367-5826
メールアドレス：y_ishi@cc.tuat.ac.jp